

アジア地域の大学における IPE の実践状況 — IPE 関連文献の考察から

松井由美子、村田憲章、桑原桂、山口智、真柄彰
新潟医療福祉大学 新潟連携教育研究センター運営委員会

【背景・目的】本学の連携科目である「連携総合ゼミ」は連携教育の集大成となる4年次の演習科目である。本学の教員・学生の他、大学間連携により新潟薬科大学や日本歯科大学、日本歯科大学短期大学、新潟リハビリテーション大学に加えて近年国際化も進み、フィリピンや台湾などアジア諸国からの参加者による英語発表が実施されている。

海外参加者の本学での経験が自国でどのように生かされ IPE の浸透につながっていくのかについて今後調査を行うことを前提に、本研究ではアジア地域における IPE に関する論文をいくつか取り上げ、どのような IPE が実施されているのか、内容を分析しアジア諸国における IPE の実践状況について考察する。

【方法】海外論文の検索のため医学分野における代表的なデータベースである「MEDLINE:PubMed」を使用し、キーワードは「Inter-professional Education、Asia、IPEUniversity」で検索し、すべてフルテキストとした。

さらに検索された論文の11の大学のHPに入り検索欄に「IPE」といれて大学としての取り組みの有無を調べた。

【結果】検索された論文数は26件で、内容を分析し、IPWや卒業教育に関するもの、大学が主体でないものを除いた11件を研究対象として抜粋した(表1)。年度制限はしていないが文献は2013年～2018年に刊行されていた。国別では、インドネシアが3件と最も多く、シンガポール、台湾、イランが各2件、イスラエル、中国が各1件であった。IPEの評価に関する研究が6件(文献3、4、5、6、8、9)と最も多く、特にRIPLS: Readiness for Interprofessional Learning Scale Parsell & Bligh (1999)を使用したものが4件含まれていた。インドネシアではインドネシア版を作成している。その他はIPEのトレーニングツールやIPEインストラクター訓練のためのコース、IPE実践に有効なPBL学習、IPEのコアカリキュラム化に関するものと、IPEの効果に関するシステマティックレビュー各1件であった。各大学のHP検索欄でIPEでアクセスできたのはシンガポール国立大学のみであった。

【考察】IPEの総合的な評価スケールであるRIPLSは本学の連携総合ゼミでも使用し、連携レディネスを測定するためのスケールであるが、近年は尺度の信頼性、妥当性に問題があることも指摘され、現在アウトカム評価の尺度開発がわが国でも進んでいる。本学も評価の再検討の時期に来ており検討していく必要があると感じている。

アジアの大学ランキングで1位のシンガポール国立大学は2013年にIPEの全学科共通IPEコアカリキュラム化に向けて動き出し2年後には学生主体のIPEワークショップを医学と看護学科の学生を対象に開催している。また、HP上からもIPEが導入され、普及していることがわかった。医学、歯学、看護、薬学、社会福祉の学生によるIPE演習がカリキュラムに組み入れ実践されている。また、看護学部では独自にシミュレーション連携教育を取り入れ主として医学部と連携しトレーニングを実施している。その他、大学間連携により仮想環境に保健医療専門職がアバターとして入り3次元バーチャル空間で演習するバーチャルシミュレーショントレーニングも実践されている。参加学生は医学、看護、理学、作業、薬学、社会福祉で仮想病院でのトレーニングを積んでいる。かつて英国のセントジョージ大学や、シェフィールド大学で見学したIPEが現在この大学でそのまま受け継がれ実践されていることが分かった。専門職も年々、多職種に拡大されている。

香港大学ではTBLによるIPEプログラムの開発に取り組み、学生も医学、看護、薬学、社会福祉を対象としている。医学、看護、薬学が多い中、シンガポール国立大学同様に福祉系の学生が含まれているのは注目に値する。台湾のチャンゲン大学では多職種の参加者でナラティブメディスンプログラムを実施している。

【結論】IPEはアジアの公立大学を中心に進展目覚ましく、近年では医学、看護だけではなく多職種に拡大されつつあることが確認された。

表1. IPEに関する11の文献と概要

No	大学(国)	概要	参加者
1	スラバヤ大学 インドネシア 2013	IPEのトレーニングツールに関する研究 コミュニケーションの促進	保健医療福祉 専門職
2	シンガポール国立大学 シンガポール 2013	IPEのためのプラットフォームの設計、IPEのコアカリキュラム化	全学科
3	国立イスラム大学 インドネシア 2014	IPEの評価研究 RIPLS インドネシア版の作成と実施	医学生、看護 学生、薬学生、 公衆衛生学生
4	シーラーズ医科大学 イラン 2014	IPEの評価研究 RIPLS とIEPS尺度によるIPEの 学習準備と認知度の測 定・分析	医学、看護
5	シンガポール国立大学 シンガポール 2015	IPEのワークショップに 参加した学生への RIPLSによる評価	医学、看護
6	国立陽明大学 台湾 2016	IPEインストラクター訓練 のためのシミュレーショ ンコースの参加と評価	医師、看護師、 薬剤師
7	チャンゲン大学 台湾 2017	ナラティブメディスン (NM)プログラムの参加 による共感への影響	医師、歯科医 師、看護師、薬 剤師、栄養士、 理学療法士、 呼吸療法士
8	ケルマン医科大学 イラン 2017	入院患者に対する学生の 態度の変化RIPLSに よる前後評価	医学生、薬学 生
9	香港大学 中国 2017	TBL学習によるIPEプロ グラムの開発と実施評 価(IPETBL)	生物医学、中 医学、医学、看 護、薬学、社会 福祉
10	テルアビブ大学 イスラエル 2017	IPEはIPCのために不可 欠であり、その実践の ためにはPBLが有効	看護、作業療 法士、理学療 法士
11	国立ガジャマダ大学 インドネシア 2018	IPEの効果に対する体 系的なレビューにより IPEによる有効性を明示	保健医療福祉 専門職